

令和5・6年度幼保小接続推進リーダー育成事業第2回連絡協議会

幼児期の育ちと学びを 小学校へつなぐために



令和7年2月6日

鳥取市立久松小学校

社会福祉法人あすなろ会 久松保育園

- 1 はじめに(校区の概要)**
- 2 幼保小架け橋期のカリキュラムの作成**
- 3 連携の実際**
- 4 成果と今後の展望**



1 はじめに（校区の概要）



•久松小学校



令和6年度

児童数 306名 (R6.5)

校訓

「正直 親切 勤勉」

学校教育目標

「志高く たくましく しなやかな

『久松っ子』の育成」

•久松保育園



令和6年度

園児数 95名 (R7.1)

めざす子ども像

「やさしく、たくましく、
感性豊かな子ども」

2 幼保小架け橋期の カリキュラムの作成

鳥取県幼保小の円滑な連携・接続のためのポイント ～「つなぐ」の3つの柱～

子どもの育ちと学びをつなぐために

組織をつなぐ

- ・管理職同士のつながり（連絡協議会等）
- ・連携推進担当者同士のつながり
- ・年間連携（交流）計画を作成
- ・就学前後の引継ぎ・連絡会の実施
- ・園、学校、学級だより等の送付・掲示等
- ・幼保小の相互理解に向けた参観・研修等の実施

人をつなぐ

- ・園児と児童、園児同士の交流
ねらいを明確にした交流
- ・教職員の相互理解
保育参観・授業参観
合同研修会
保育体験・授業体験

教育をつなぐ

- ・めざす子どもの姿の共通理解
- ・互いの教育内容・保育内容を理解
- ・つきたい力等を協議し、共通実践
- ・接続カリキュラムの編成・実施・評価・改善

連携

接続

鳥取県の架け橋期のカリキュラムの検討・開発のポイント



1 「架け橋期のカリキュラム」の進め方を確かめよう!

園・小学校等での具体化の進め方(各フェーズ)のイメージ

※手引きP.15, 34, 48

※鳥取県幼保小接続ハンドブック「育ちと学びをつなぐ」P.9~14 参照

1年目(令和5年度)

基盤づくり (フェーズ1)

- 園・小学校等での活動の共有
 - ・連絡協議会(管理職同士)
 - ・保育・授業等の相互参観・体験等
- 連携窓口の明確化
 - ・連携担当者会等
- 自園・自校の先生への意識啓発と参画
- 子どもの交流
 - ・水遊び、秋みつけ、給食等の交流
 - ・行事への参加等

検討・開発 (フェーズ2)

- 共通の視点をもとに内容の検討・開発
- 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の共通性の理解
- 幼保小合同会議の設置
- 相互の教育の内容や方法に関する理解の共有
- 子どもの交流の推進
 - ・事前の合同打合せ
 - ・事後の合同振り返りの会等

カリキュラム

実施・検証 (フェーズ3)

- 園・小学校等において教育課程編成・指導計画作成、実施・検証
- 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用
- 幼保小合同会議の充実
- 相互の教育の内容や方法に関する理解の深化
- 子どもの交流の充実

改善・発展の サイクルの定着 (フェーズ4)

- 持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム
- 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用の充実
- 幼保小合同会議の定着
- 相互の教育の内容や方法に関する理解の改善・発展
- 持続的・発展的な子どもの交流の実施

【令和5年度の取組内容】

(1) 幼保小接続に関する合同研修の推進

(2) 架け橋期のカリキュラムの開発

(3) 連携・接続の推進体制の構築

(4) 互恵性のある交流活動

(5) 小学校等における体験入学

(6) 園における保育体験

(7) 他市町村・小学校区等の合同研修会への参加



< 架け橋期のカリキュラムの作成の過程 >

アプローチカリキュラム	
【目指す子ども像】・やさしく・たくましく・感性豊かな子	
子どもの実態	明るく素直で穏やかである。自分でできることも自信のなさや、失敗
育てたい子どもの姿【目標】	・年齢に応じて他人を思いやることができ、自分を大切にできる子ども ・意欲的に体を鍛え、いろいろなことに挑戦していきこうとする子ども ・感じる力、感動する心を大切にし、友だちと一緒に楽しんだり、喜んでい
健康な体	・4月 友だちと楽しく食事をしながら、正しい ・5月 ・6月 夏野菜の栽培や収穫
人権【協同性とまじり】	・園生活の中で、きまりの大切さに気付き守ろうとする。(道徳性、規範意識の芽生え) ・異年齢児に関心を持ち、関わりを楽しむ。 【異年齢交流・わらべうた遊び】

アプローチカリキュラム

子どもたちを中心に



鳥取市立久松小学校	
令和5年度スタートカリキュラム	
【校訓】 正直 親切 努力	学校教育目標 志高く たくましく しなやかな 「久松っ子」の育成
スタートカリキュラム	
北中校区 目指す子ども像	アプローチカリキュラム(各園) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ・健康な心と体 ・自尊心 ・協同性

スタートカリキュラム

見えてきた子どもたちの課題

失敗を恐れる・すぐあきらめる・発表を嫌がる・自信がもてない

つながり・安心感・友達の支え・切磋琢磨

心身のたくましさを育みたい！

< 架け橋期のカリキュラムの作成 >

①めざす子ども像の設定

「仲間とつながり合い、心も体もたくましく 育つ『久松っ子』」

②育みたい資質・能力の設定

③めざす姿に関係する遊びや学びのプロセス

(アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムを基にして)

④先生のかかわり・環境構成・環境づくり

⑤年間交流計画 (子ども・教職員の連携・交流)

鳥取県の架け橋期のカリキュラムの検討・開発のポイント



「架け橋期のカリキュラム」の進め方を確かめよう!

園・小学校等での具体化の進め方(各フェーズ)のイメージ

※手引きP.15, 34, 48

※鳥取県幼保小接続ハンドブック「育ちと学びをつなぐ」P.9~14 参照

1年目 (令和5年度)

基盤づくり (フェーズ1)

- 園・小学校等での活動の共有
 - ・連絡協議会(管理職同士)
 - ・保育・授業等の相互参観・体験 等
- 連携窓口の明確化
 - ・連携担当者会 等
- 自園・自校の先生への意識啓発と参画
- 子どもの交流
 - ・水遊び、秋みつけ、給食等の交流
 - ・行事への参加 等

検討・開発 (フェーズ2)

- 共通の視点をもとに内容の検討・開発
- 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の共通性の理解
- 幼保小合同会議の設置
- 相互の教育の内容や方法に関する理解の共有
カリキュラム
- 子どもの交流の推進
 - ・事前の合同打合せ
 - ・事後の合同振り返りの会 等

実施・検証 (フェーズ3)

- 園・小学校等において教育課程編成・指導計画作成、実施・検証
- 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用
- 幼保小合同会議の充実
- 相互の教育の内容や方法に関する理解の深化
- 子どもの交流の充実

改善・発展の サイクルの定着 (フェーズ4)

- 持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム
- 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用の充実
- 幼保小合同会議の定着
- 相互の教育の内容や方法に関する理解の改善・発展
- 持続的・発展的な子どもの交流の実施

2年目 (令和6年度)

令和6年度幼保小接続推進リーダー育成事業 取組内容

1年目（令和5年度）

- 小学校と保育園のめざす子ども像と育みたい資質・能力について
- 年間の交流活動計画
- 教職員の交流（保育体験）
- 子ども同士の交流
- 架け橋期のカリキュラム開発

2年目（令和6年度）

- 架け橋期のカリキュラム検証・改善
 - ・小学校と保育園のめざす子ども像と育みたい資質・能力の確認
 - ・年間の交流活動計画
 - ・教職員の交流（保育体験）
 - ・子ども同士の交流
- 授業補助体験の実施**

保小推進リーダー会（園長・校長）で確認

【架け橋期のカリキュラムの検証・改善】

①架け橋期のカリキュラムへ(カリキュラムの検証・改善)

- ・「共に育てたい子どもの姿」の確認

「仲間とつながり合い、心も体もたくましく育つ『久松っ子』」

- ・実践から見えてきた子どもの具体の姿から、育ちを検証

(5歳児と1年生の事例をもとに検証)

- ・共有した内容をカリキュラムに反映

②相互参観・協議

- ・子どもの学び、連続性、支援、環境等の分析と共有

③年間の交流活動の協議

- ・交流計画・実施・評価・改善



3 連携の実際

令和6年度

1年 学年目標

『はなまる★いっぱい1ねんせい』



は はなしをよくきき

な なかよく せいかつ

ま まちがえたってだいじょうぶ♪

る ルールをまもってがんばろう！



期待感をもつ（「仲間とつながり合う」素地づくり）



「この遊び知ってる！」

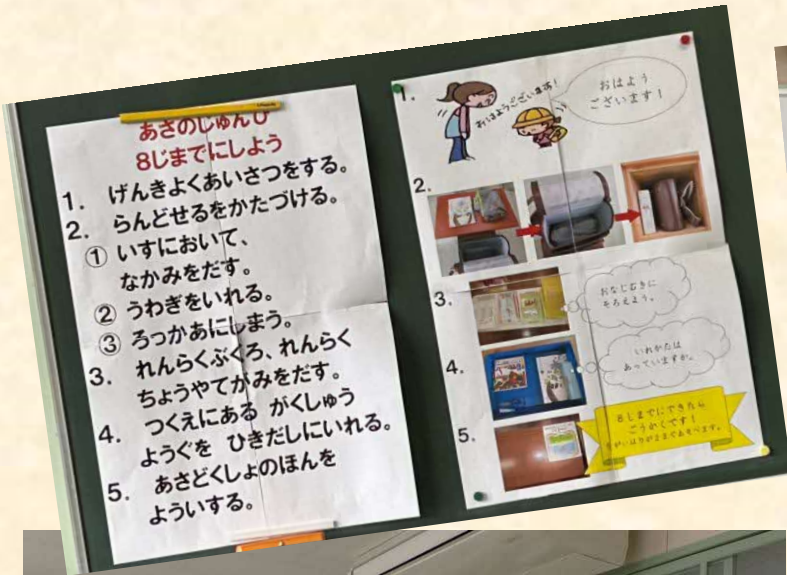
「保育園でもしてたよ！」

安心感→もっとやってみたい！
他の友達ともやってみよう！

すごろくだ！
保育園でも
やってたよ！

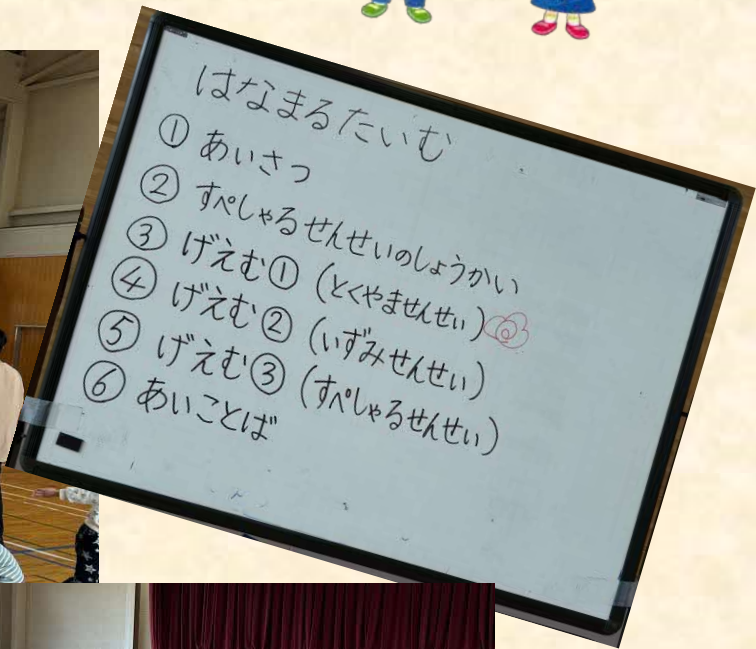
4月 はなまるタイム

期待感をもつ（「仲間とつながり合う」素地づくり）



5月連休明け 保育士による参観・授業補助（はなまるタイム）

期待感をもつ（「仲間とつながり合う」素地づくり）



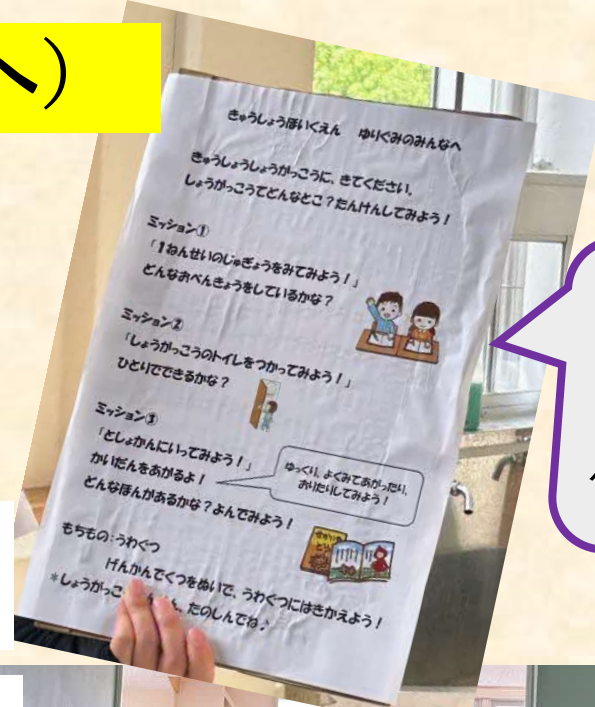
久しぶりの保育園の先生！うれしい！



好奇心・探究心・挑戦（学校探検へ）



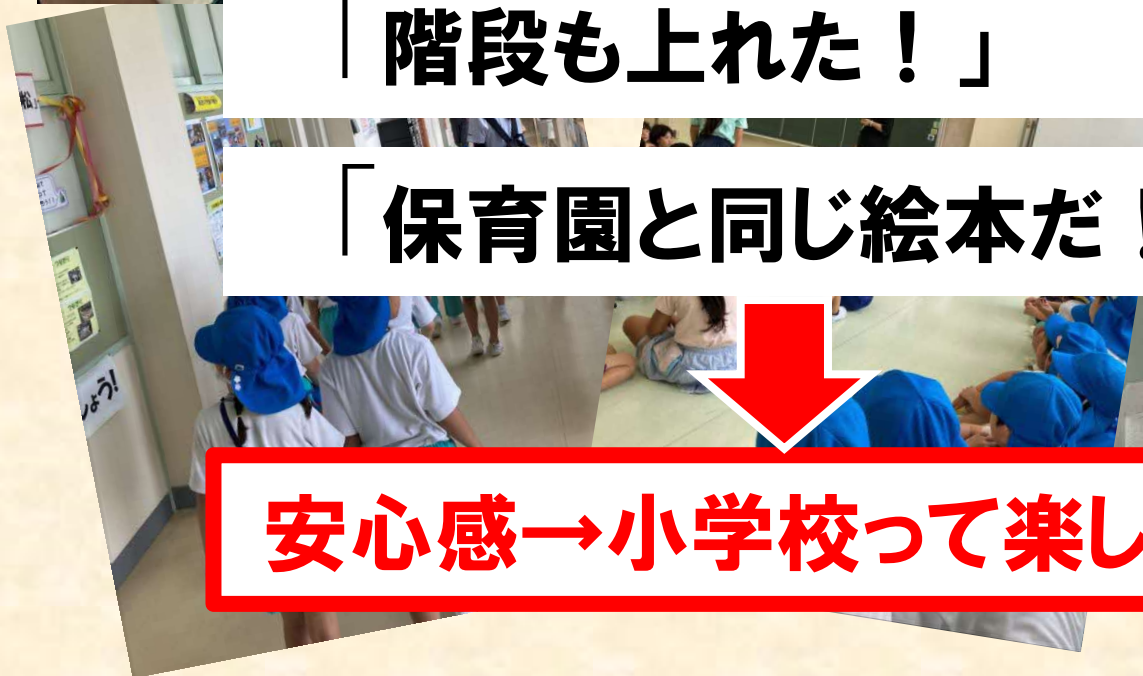
「トイレが使えた！」



ミッションを
クリアしながら、
小学校探検をしたよ。

「階段も上れた！」

「保育園と同じ絵本だ！」

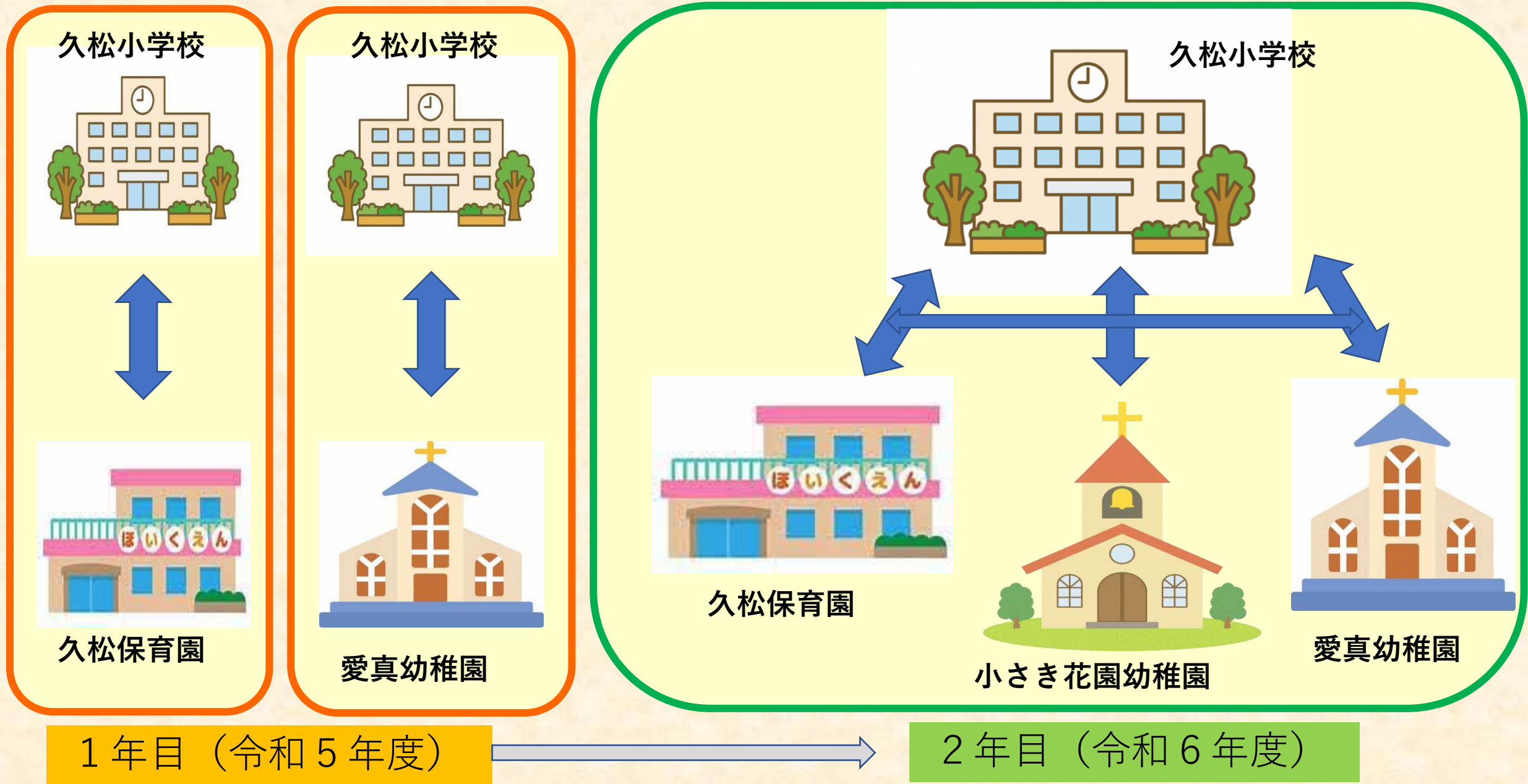


安心感→小学校って楽しそう！



小学校ってどんなところ？
【久松保育園 小学校探検】

自己発揮する・進んで関わる（交流活動を通して）



【7/9「水遊び」】



久松保育園 年長児
愛真幼稚園 年長児
久松小学校 1年生

場所：久松小学校

【11/20 秋見つけ】



久松保育園 年長児
愛真幼稚園 年長児
小さき花園幼稚園 年長児
久松小学校 1年生

場所：樗谿公園

約100名!

【11/20 3園の年長児と1年生の交流 秋みつけ活動案】

11:30
研修公園

1 本時の活動

(1) 本時のねらい

◎活動のねらい

◆交流のねらい

年長児		共通のねらい		1年生
久松保育園 ◎身近な秋の自然に触れ、木の実や落ち葉等の自然物に興味関心を持つ	愛直幼稚園 ◎秋の自然に触れ、驚いたり発見したりしながら活動を	小さき花園幼稚園 ◎秋の自然物に触れ、五感を使いながら遊びを楽しむ。	異年齢の友達と一緒に遊ぶ活動を通して、園児・児童共に進んで関わり、親し	生活科「たのしい あき いっぱい」 ◎これまでの経験に基づき、秋の自然物のよさや特徴を生かしながら、楽しむことができ
◆小学生に親しみながら一緒に秋みつけを楽しむ。				やり、相手意識をもい関わることで

活動のねらいと交流のねらい(つながり)

(2) 本時の流れ

時間	活動内容	評価規準(方法)
0:00-0:10	◎小学生とペアになる。 ●活動に見通しをよう、子どものをわけていく。 ◎小学生と一緒に ●一緒に活動をしよう、緊張感をほぐしていく。 ◎探した物を小学生に見せたり、印をつけてもらったりしながら一緒に探してみようとする。	◎自分から進んで年長児の名前を呼び、名前を伝えたり話しかけたりしの子を覚えられるように促す。と一緒にビンゴをしながら、自然物を見つける。
0:10-0:20	◎名前を呼ばれて、手をあげたり声を出したりする。 ◎名前を呼んでくれた1年生とペアになるよう教師も一緒に呼びかけをしようとする。	◎自然物を見つけたペアの子のビンゴカードに印をつける。 ●積極的に年長児をリードできるように、声をかける。
0:20-0:30	◎体や心を表山動かし、ネイチャービンゴゲームをする。 ●ペアのわががたしで自然物を探して、お友達と協力して探してみようとする。	◎拾ってきた自然物や周りに落ちているものを並べて遊ぶ。 ●グループごとに活動を始めるが、途中でつながったり、一緒に並べたりしてもよいことを伝える。
0:30-0:40	◎名前を呼んでくれた1年生とペアになるよう教師も一緒に呼びかけをしようとする。 ●一緒に探してみようとする。	◎作品のすてきな所や、気に入ったところ、自分たちががんばったことなどを発表する。 ●お付きや発表の仕方について称賛する。
0:40-0:50	◎探した物を小学生に見せたり、印をつけてもらったりしながら一緒に探してみようとする。	◎自然物を見つけたペアの子のビンゴカードに印をつける。 ●積極的に年長児をリードできるように、声をかける。
0:50-1:00	◎小学生と一緒に見つけた自然物を並べたり、感を作ったりしようとする。	◎作品のすてきな所や、気に入ったところ、自分たちががんばったことなどを発表する。 ●お付きや発表の仕方について称賛する。
1:00-1:10	◎小学生との関わりを喜びながら一緒に遊んでみようとしている。	◎作品のすてきな所や、気に入ったところ、自分たちががんばったことなどを発表する。 ●お付きや発表の仕方について称賛する。
1:10-1:20	◎気づいたこと、感じたことなどにして伝えようとする。 ●活動を通して感じたことや、共に共感していく。	◎作品のすてきな所や、気に入ったところ、自分たちががんばったことなどを発表する。 ●お付きや発表の仕方について称賛する。

それぞれの担任が主となる活動を計画

お互いの強みを生かせる

互恵性のある活動に！！

【12/4 交流会のふり返りの会】

<活動のふり返り・次年度にむけて>

子どもの成果

- ◎ペアの子の名前を覚えている。
- ◎他園の子と関わろうとしている。



次年度以降も
縦のつながり・横のつながり
を意識した交流を！！

職員の成果

- ◎他園の日頃の活動を知ることができた。
- ◎他の職員の子どもとの関わり方を知ることができた。



職員同士の交流（保育体験・意見交換）



わあ、みんな
自分から話し
てくる。



【7/23・24・30 保育体験】

【7/23・24・30 保育体験】

自分で考える

考えを表現する



的確な援助が
主体的な活動を促す

年長さん、
すごい!!

よく考えて
つくっている
なあ。





自分で考えることを大切にしています。



幼児期→児童期→青年期へのつながりを大切に！



【7/30 保育体験を終えて意見交換会】

4 成果と今後の展望

成果

- 子ども同士の交流会、職員同士の交流会・架け橋期のカリキュラムの作成を通して、しっかりと対話することができた。自分の保育・教育活動・指導法を振り返り、生かすことができた。
- 職員が学びのつながりを意識して取り組むことで、子どもの安心感につながり、就学へのステップアップがスムーズになり、戸惑いなく他者と関わる心の余裕となった。そして、その余裕が、子ども同士の学び合い、様々なことに挑戦できるたくましさへとつながった。

今後の展望

- 幼保小連携の取組が、一部の職員だけでなく、職員全体の取組、持続可能な取組となる仕組みにする。
- 久松校区として、愛真幼稚園や小さき花園幼稚園とも、さらに連携を進め、縦のつながり横のつながりを強固にする。